

心がぽかぽか温まるステージ

清心フェスティバル2日目の10月18日、小学部 A グループ（1組、3組、6組）の子どもたちが、日々学習していることや得意なことをステージで発表しました。「昔話の世界」と「現代の松江市」の2つの世界で、子供たちが生き生きと活躍するというストーリーです。今も昔も、私たちの周りには心がぽかぽかすることがいっぱい。『こころ ぽかぽか』を合言葉に、本番まで練習をがんばってきました！

昔話の世界

3組は、身体の学習で取り組んでいることや、好きな活動を生かして、「まんが日本昔話」の“一寸法師”と“浦島太郎”の世界を表現しました。一寸法師の兄弟&お姫様、浦島太郎&乙姫様、タツノコタロウ…とたくさんのキャラクターが登場し、会場を沸かせました。



1・6組は、校外学習や生活単元学習等で学習した松江市の様子を再現したり、発表したりしました。「松江駅」、「S ショップ（コンビニ）」、「ぽかぽかスタンド（ガソリンスタンド）」の3つの場面で駅員さん・店員さん・お客さんが大活躍しました。劇中の小道具は子供たちの手作りで、華やかな舞台となりました。



たくさんの観客の前で発表することは、子どもたちにとって特別な経験だと思います。当日はたくさんの方に応援してもらったり、拍手を浴びたり、「よかったよ。」と声をかけてもらったりしました。子どもたちの自信につながると思います。

子どもたちのがんばる姿こそ、みんなの心を「ぽかぽか」にしてくれました。みなさん、ご観覧ありがとうございました。